

◀ 目次(INDEX)に戻る

地震が多くて不安です。

列車に乗っている時に地震が起きたら安全でいられるのでしょうか。



地震の規模によりその場で**運転を見合わせる場合があります**。影響範囲の確認を行い、運転可能な列車は運転を行いますが、列車・区間によっては速度を落として運転しながら、線路がゆがんでいないか等、確認を行います。

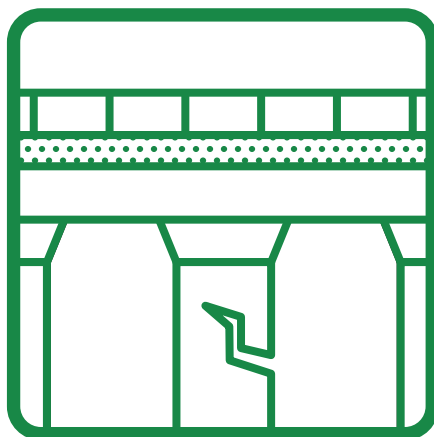


▲ [目次\(INDEX\)に戻る](#)

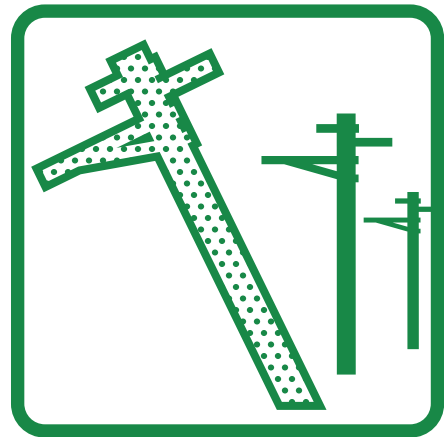
地震により想定される被害



線路のゆがみ



高架橋のひび



電柱の傾き

地震時の運転規制イメージ (在来線・新幹線)

通常運転

鉄道施設に影響を及ぼさない程度

※ほとんどの人が揺れを感じる

通常通りの
運転をします。



速度規制

鉄道施設に影響を及ぼす可能性がある場合

※人がものにつかまりたいと感じる程度

速度を落として線路状態等の安全を確認しながら運転します。線路状態等、運転に支障があった場合、運転を見合わせます。



▲ [目次\(INDEX\)に戻る](#)

運転見合わせ

鉄道施設に甚大な被害を及ぼす可能性がある場合
※緊急地震速報等が発信され、立ってられないほどの揺れの場合



緊急停車し運転を見合わせます。運転を再開するためには、構造物や線路の状態について地震計の影響範囲の全ての区間を係員が確認する必要があります。そのため、**運転再開までに相当の時間がかかります**ので駅間に停車した列車にご乗車のお客さまの救出を第一に行動します。



※地震の運転規制値は、各路線における区間ごとの耐震強度に基づき設定されています。



徒歩や線路点検車により、影響範囲を全て点検し異常がないことを確認する必要があります。

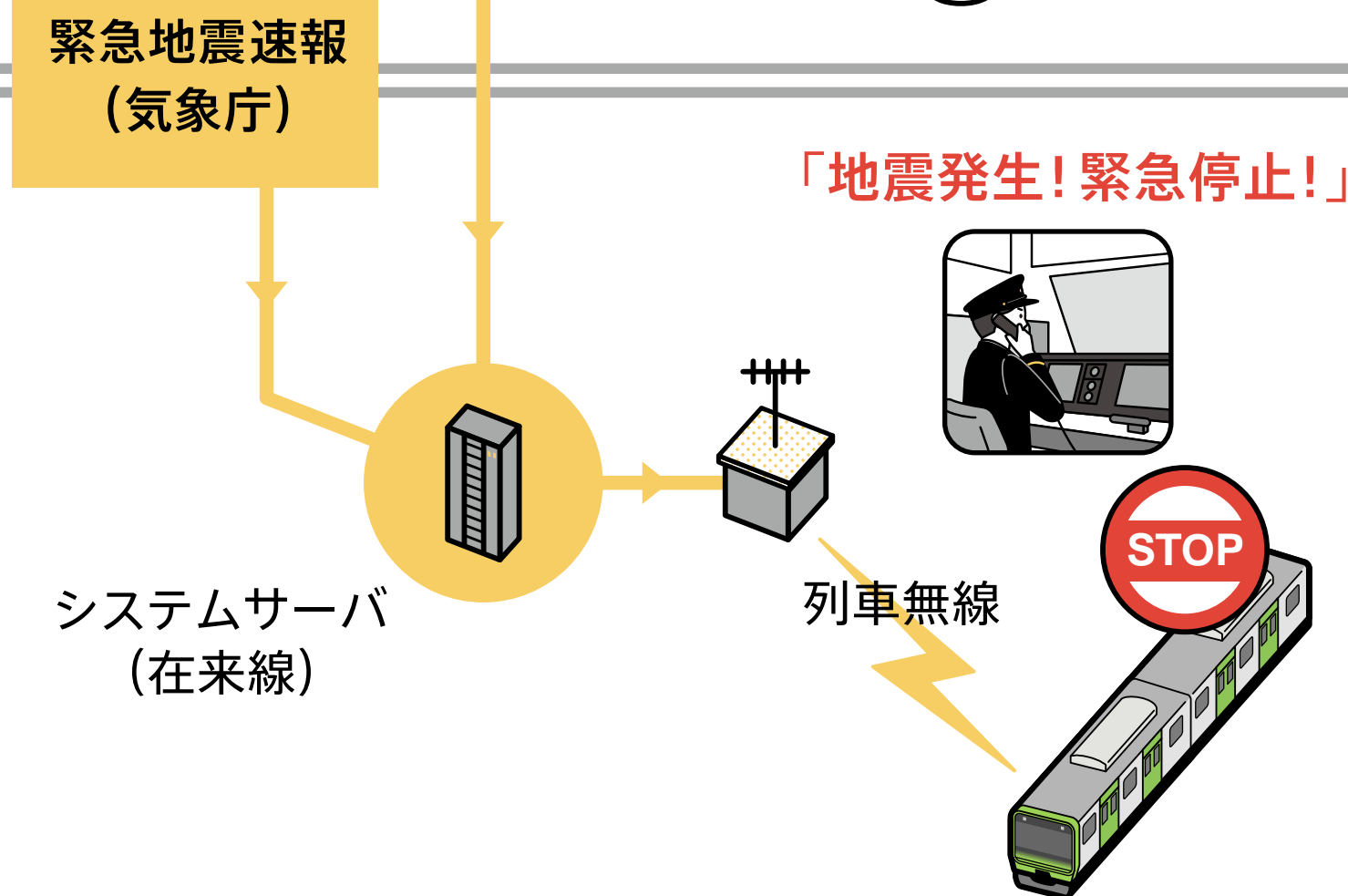
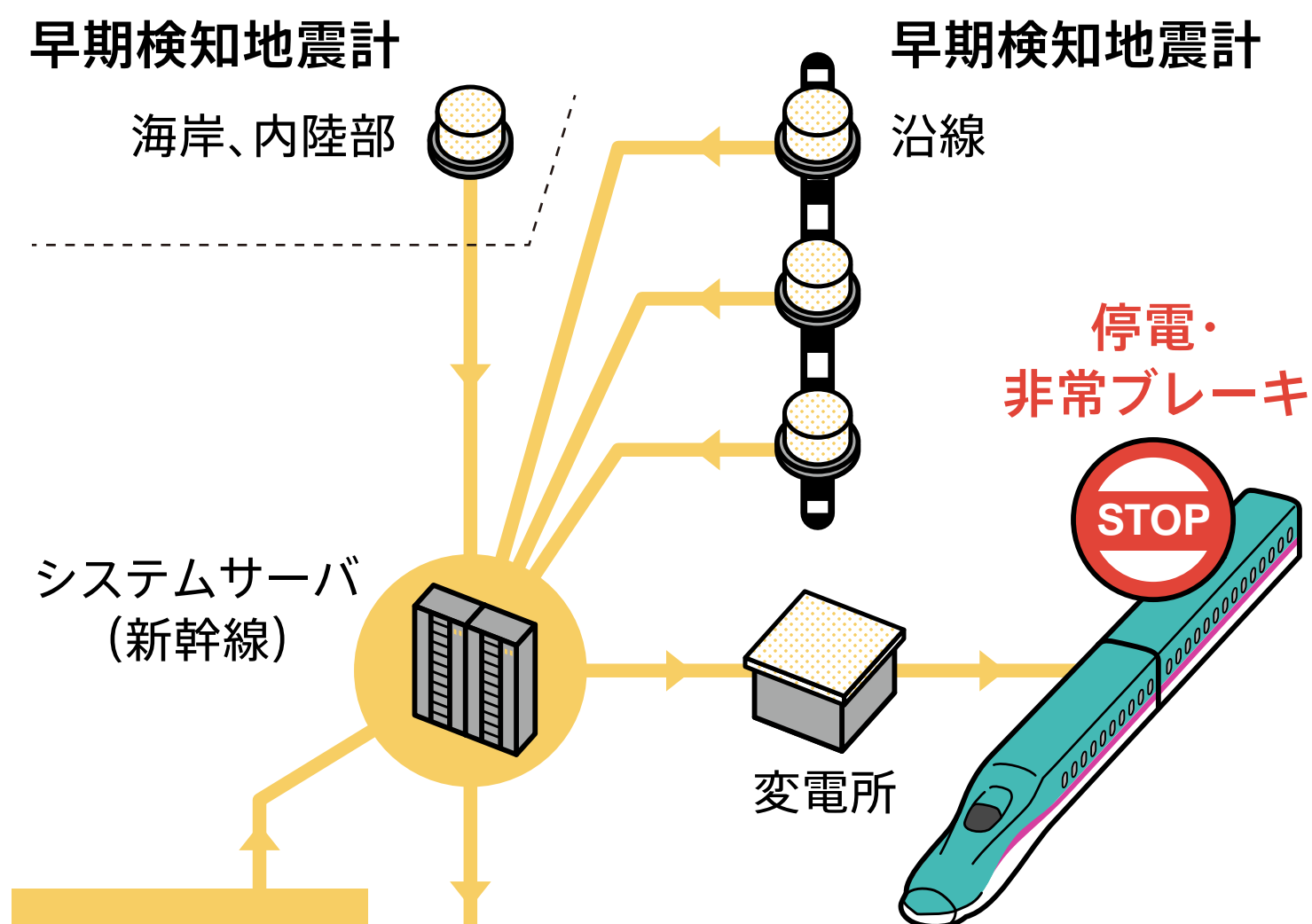
※運転再開直後は列車本数が少なく間隔もあいているため、各駅で混雑が予想されます。

▲ [目次\(INDEX\)に戻る](#)

地震を検知し列車を安全に停止させる

当社にて設置した地震計や緊急地震速報(気象庁)等の情報を活用することで、速やかに安全に列車を停止させる仕組みを構築しています。

新幹線早期地震検知システム



在来線早期地震警報システム

[^ 目次\(INDEX\)に戻る](#)

被害軽減対策

過去の地震や最新の活断層の知見に基づき、耐震補強対策を着実に推進することで、被害の軽減を図ります。



高架橋の耐震対策



橋りょうの耐震対策



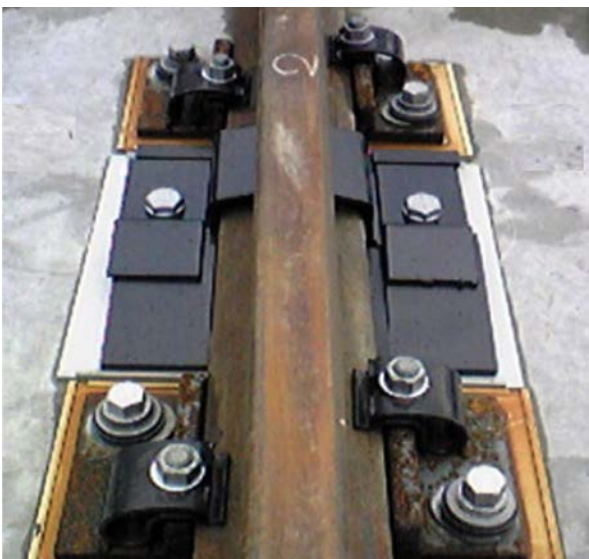
盛土の耐震対策



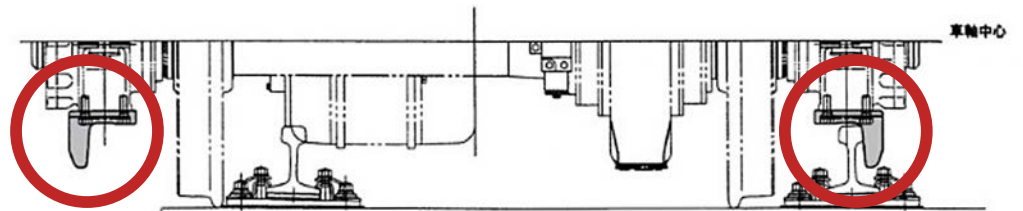
電架柱の耐震対策

新幹線の脱線転覆防止対策

万が一、車両が脱線しても車両の転覆を防止します。



レール転倒防止対策



逸脱防止ガイド

